

第1章 第3期大村湾環境保全・活性化行動計画の検証と評価

1 第3期大村湾環境保全・活性化行動計画の概要

本県では、大村湾及びその流域¹⁾の環境保全及び活性化を図るため、2003年（平成15年）12月に「大村湾環境保全・活性化行動計画」、2009年（平成21年）3月に「第2期大村湾環境保全・活性化行動計画」、2014年（平成26年）3月に「第3期大村湾環境保全・活性化行動計画」（以下「第3期行動計画」とする。）を策定し、大村湾の環境保全等に取り組んできました。

第3期行動計画の計画期間及び基本的な事項については、次のとおりです。

◆第3期行動計画の計画期間

平成26年度～平成30年度（5年間）

◆計画目標

みらいにつなぐ“宝の海”大村湾

◆第3期行動計画における方向性

1. 自律的な再生能力のある里海づくり

海域が本来備えている再生能力の回復を助けることにより、豊富で多様な生物相による円滑な物質循環を再現し、生物の力で環境を自律的に修復できる海を目指します。

2. 持続的な活用ができる里海づくり

産業の振興のみならず、大村湾を活かした人々の交流、自然とのふれあい、スポーツやレクリエーションでの利用、環境保全活動、大村湾に関係する多様な取組により、生活に深く関わるかけがえのない海として人々から認知される宝の海を目指します。

◆施策体系

1. 山から海まで一体となった里海²⁾づくり

2. 生物多様性の保全による里海づくり

3. 賑わいのある里海づくり

4. みんなで取り組む里海づくり

2 第3期行動計画の実績

自律的な再生能力のある里海づくりと持続的な活用ができる里海づくりの方向性のもと、4つの体系の基本的な方向に沿った事業を展開することにより、目標の実現を目指してきました。

第3期行動計画における主な取組の実績は、次のとおりです。

(1) 山から海まで一体となった里海づくり

公共下水道等の整備を行うことにより、大村湾流域の汚水処理人口普及率³⁾は、2012年（平成24年）度末の90.6%から、2017年（平成29年）度末の94.1%まで向上しました。

また、流域別下水道整備総合計画を2015年（平成27年）3月に策定し、3か所の下水処理場において高度処理化⁴⁾に着手しました。

さらに、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出するために、多自然川づくり⁵⁾に取り組みました。

重点施策であった、貧酸素水塊⁶⁾対策については、エアレーション⁷⁾技術の実用化研究に取り組みました。

(2) 生物多様性⁸⁾の保全による里海づくり

希少野生動植物の保護・保全のため、捕獲や採取を禁止する地域指定を行いました。また、希少野生動植物の生息・生育状況を把握するため、モニタリングの現地調査を行い、長崎県レッドリスト⁹⁾の中間見直しを実施しました。

重点施策であった、生物の生息場整備については、廃ガラスによる再生砂¹⁰⁾を活用した浅場を湾内に2か所造成し、海洋生物である二枚貝の生息数の増加が確認できました。

(3) 賑わいのある里海づくり

大村湾周辺の地域産品を含む、長崎県産品ブランド化・販路拡大のための、商談会等を行い、生産者・出展団体等と流通企業等との取扱商品の成約につなげることができました。

重点施策であった、水産業の振興については、ヒラメ、カサゴ、タイワンガザミ等の種苗放流やナマコの資源管理など漁獲量の減少に歯止めをかける取組を行いました。さらに水産資源の維持回復に向けた漁場づくりのため、水産多面的機能発揮対策事業¹¹⁾により藻場や干潟等の保全活動に取り組む漁業者の組織数が、増加しました。

(4) みんなで取り組む里海づくり

環境保全意識を高めるため、県の環境アドバイザー制度¹²⁾を利用した環境教育や、流域市町における河川の水生生物調査¹³⁾などを行いました。

重点施策であった流域自治体との連携については、大村湾をきれいにする会による大村湾沿岸の一斉清掃などを行い、市町と連携した取組により大村湾の環境保全に努めました。また、流域市町では大村湾一周自転車イベントなどが開催され、広域の自治体連携による地域活性化の取組が進められました。

3 第3期行動計画の目標達成状況

第3期行動計画は、みらいにつなぐ“宝の海”大村湾の実現のため、水質目標に加え、各事業の進捗状況を17個の指標で評価することにより同計画を管理してきました。

(1) 水質目標

第3期行動計画の水質目標と2017年（平成29年）度の大村湾におけるCOD¹⁴⁾、全窒素¹⁵⁾、全リン¹⁶⁾の値は表1-1のとおりです。

表 1-1 第3期行動計画の水質目標と達成状況 (単位 mg/L)

	COD (75%平均値)	全窒素 (平均値)	全リン (平均値)
2012年（平成24年）度	2.2	0.27	0.020
2017年（平成29年）度	2.0	0.18	0.017
計画目標 2018年（平成30年）度	2.0	0.20	0.020
達成状況 2018年（平成30年）10月時点	達成	達成	達成

※計画目標についてはCOD（75%値）、全窒素、全リンとも全17環境基準点¹⁷⁾の平均とする

※CODの環境基準達成は、全環境基準点において2.0mg/L以下となることを要する

大村湾の水質は、近年改善傾向にあり、2017年（平成29年）度の値は、COD、全窒素、全リンとも水質目標を達成しました。

特にCOD(75%値平均)については、値が上下する年があるものの、污水处理人口普及率の上昇にみられるようなこれまでの陸域からの負荷軽減対策等により、近年、改善傾向を示しています。（図1-1）

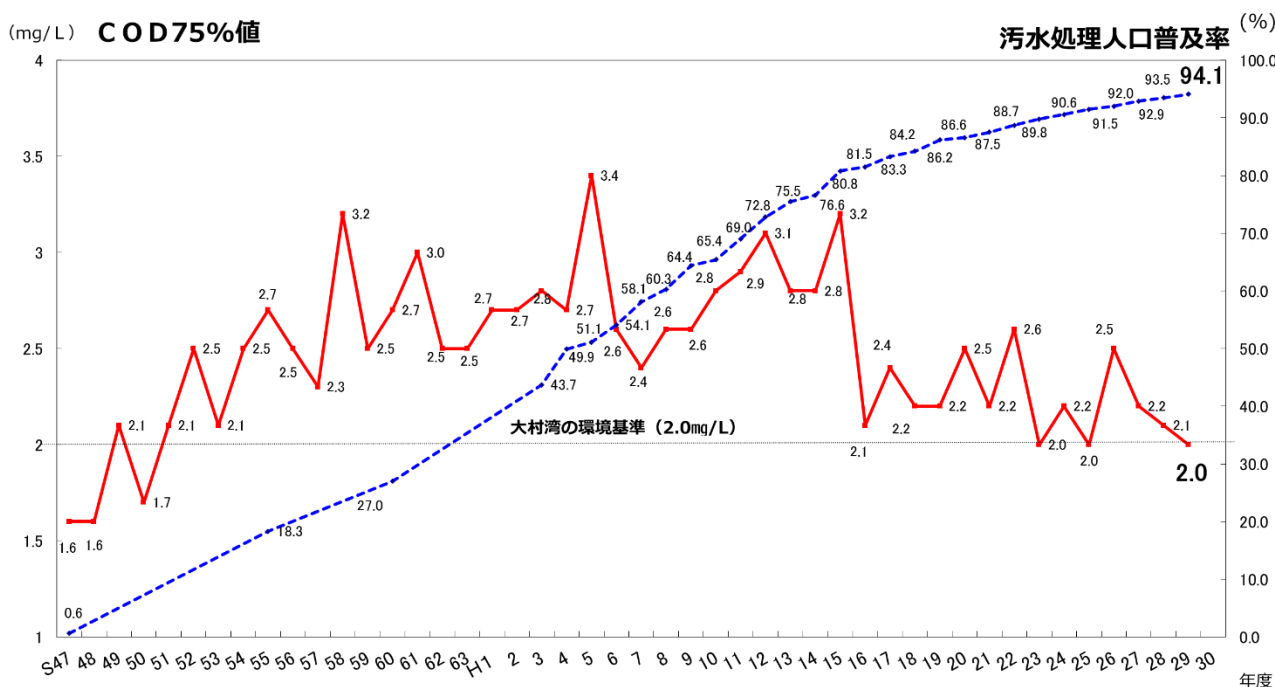


図1-1 CODと污水处理人口普及率の推移

(2) 事業等の取組の目安となる指標

第3期行動計画で設けた、17個の各事業に関する指標の進捗状況については、表1-2のとおりです。

2018年（平成30年）9月末現在、17個中12個の指標で目標値に達しており、その他の指標についても、ほぼ、目標達成に向けて順調に推移しました。

表 1-2 指標の達成状況一覧

大項目	中項目	小項目	指標名	基準値等 (基準年)	目標値 (年)	直近の実績値 (年)	指標の 状況	所管課
I 山から 海まで 一体と なった 里海づ くり	①生活排水等の流 入負荷抑制	汚水処理推進の取 り組み	大村湾流域汚水処理人口普及率	90.60% (H24年度末)	95.00% (H30年度末)	94.1% (H29年度末)	△	水環境対策課
		汚水高度処理に向 けた取り組み	流域別下水道整備総合計画の策 定	計画策定 (H26年度)	計画策定 (H26年度)	計画策定済 (H26年度)	○	水環境対策課
		工場、事業場等を 対象とした排水規 制	大村湾流域排水基準適合率	95.90% (H21～24年度)	100% (H26～30年度)	93.75% (H29年度)	△	地域環境課
	②面源からの流入 負荷抑制	環境保全型農業の 推進	有機・特別栽培に取 り組む面積	1,266ha (H24年度)	2,000ha (H32年度)	1,943ha (H29年度)	△	農業経営課
		森林の有する公益 的機能の持続的な 発揮	整備された森林面積	43,100ha (H23年度)	60,000ha (H32年度)	49,190ha (H29年度)	△	林政課
		資源循環型畜産の 推進	大村湾流域での家畜排せつ物法 に基づく行政指導件数	0件 (H24年度)	0件 (H30年度)	0件 (H29年度)	○	畜産課
	③貧酸素水塊、底 質悪化等への対策	貧酸素水塊、底質 悪化等への対策	貧酸素水塊対策のための取組件 数	-	1件 (H30年度)	1件 (H29年度)	○	地域環境課
II 生物多 様性の 保全に よる里 海づ くり	①生態系の調査	生物のモニタリン グ調査等の実施	専門家による野生動植物の調査 回数	20回/年 (H21年度)	20回/年 (H30年度)	46回 (H29年度)	○	自然環境課
	②希少動植物等の 保護	希少動植物等の保 護	自然環境保全地域等指定数(件)	-	1件/年 (H30年度)	1件 (H29年度)	○	自然環境課
	③生物の生息場整 備	浅場の造成	再生砂等を活用した浅場の造成	-	2箇所 (H32年度)	2箇所 (H29年度)	○	地域環境課
		生物が暮らしやす い環境の整備	緑といきもの賑わい事業(生物多 様性保全)実施箇所数(累計)	-	45箇所 (H32年度)	38箇所 (H29年度)	△	自然環境課
III 賑わい のある 里海づ くり	①水産業の振興	資源管理・種苗放 流による水産資源 の維持・回復	海面漁業生産量	-	1,638t (H32年)	1,687t (H28年)	○	漁業振興課
		水産資源の維持・ 回復に向けた漁場 づくり	環境保全活動件数	-	11件 (H30年度)	11件 (H29年度)	○	漁港漁場課
	④大村湾産品等の 消費拡大	大村湾産品等の消 費拡大	商談会開催回数	-	2回 (H31年度)	3回 (H29年度)	○	物産ブランド 推進課
IV みんな で取り 組む里 海づ くり	①環境への配慮	低炭素・循環型社 会構築に向けた取 り組み	ながさき環境県民会議開催回数	3回/年 (H24年度)	3回/年 (H30年度)	5回 (H29年度)	○	環境政策課 廃棄物対策課
		環境教育等の推進	環境アドバイザー派遣回数	65回/年 (H24年度)	70回/年 (H30年度)	72回 (H29年度)	○	環境政策課
	③地域連携等の取 り組み	大村湾環境ネット ワークによる地域 連携の取り組み	活動発表会等の開催回数	3回/年 (H24年度)	3回/年 (H30年度)	3回 (H29年度)	○	地域環境課

△：取組中、○：目標達成